

12月議会
議案

中央図書館大規模改修工事

総額17億6000万円



落札者・契約額・落札率は以下の通りです。

	建築工事	電気設備工事	機械設備工事
落札者	浦安建設協同組合	サンワコムシステムエンジニアリング株式会社千葉支店	須賀・光特定建設工事共同企業体
契約金額	10億1085万8400円	2億4375万6000円	5億633万6400円
落札率	91.80%	91.49%	91.77%



浦安市中央図書館（地下1階・地上2階建）は1982年10月に竣工し、建設から36年が経過し、施設が老朽化したことや図書館機能をさらに充実させるために大規模改修を行います。昨年度は大規模改修のための設計審査会を設置し、設計業務などの準備をすすめてきました。内装、外壁、設備関係など全面的な改修のほか、閲覧席の増設や授乳室の設置などの大規模改修を予定しているため、今年12月28日から2020年3月末まで、1年3カ月間休館することが、すでにHP等で告知されています。

11月30日、12月議会招集日に3件の追加議案が上程されました。
追加議案は、中央図書館の大規模改修に係る工事契約議案です。

中央図書館の蔵書は75万冊、改修工事中は休館となるため62万冊は業者の外部倉庫で一時保管され、公民館内の7つの分館で貸し出しやレファレンス機能を継続します。また、集合事務所1階に臨時窓口を設置し、返却本の受付や予約本の貸し出しなども行います。

建築工事費、電気設備工事費、機械設備工事費の合計額は約17億6000万円。入札は今年11月6日に一般競争入札で行われました。予定価格は事前公表、一方、最低制限価格は予定価格に対して91%代で設定され、事後公表となっています。

日本共産党浦安市
雇用・若者相談室長
かなや誠

週刊
市議会報告
日本共産党

2018年12月10日
第1484号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎&FAX
047-350-1243

市議会議員
元木美奈子
入船4-37-14
☎047-355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp

市議会議員
美勢麻里
北栄2-3-16-203
☎047-354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp



消費税 10%

12月議会意見書発議 中止させよう!

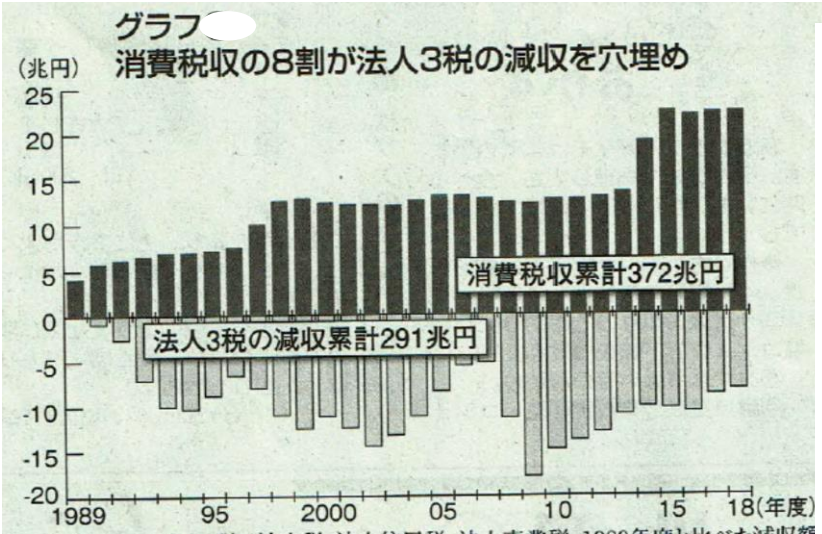
日本共産党は浦安市議会12月議会に「消費税10%への増税を中止するよう求める意見書」を発議するため、12月7日、各議員に意見書案文を配布し、共同提出と賛同を働きかけています。

貧困と格差 さらに拡大

安倍政権は消費税率を2019年10月から引き上げること狙っています。しかし、消費税は所得の少ない人ほど重くのしかかる悪税です。そのうえ、深刻な消費不況が続く中での増税は暮らしと経済をさらに落ち込ませ、貧困と格差を拡大します。

家計消費 25万円も減

14年4月、消費税率を8%に引き上げた後、家計消費が増税前の水準を上回ったことはありません。年間の家計消費は1世帯当たり約25



万円も減りました。

中止こそ万全の対策

安倍首相は消費に万全の対策をとると言っていますが、「対策」の中身はひどいものです。中小商店でカードを使って買い物したら期間限定でポイント還元するといいますが、カード払いを扱わない中小商店にとっては大迷惑です。「プレミアム付き商品券」も検討していますが、「新たな消費を喚起しない」と政府も認めています。景気の落ち込みを心配して増税分を戻すくらいなら、増税そのものを止めるべきです。

大企業減税の穴埋め

消費税が導入されて30年、国と地方の借金は4倍に膨れ上がりました。消費税の導入とその後の増税で景気が悪化し、その上、大企業減税の大盤振る舞いをしたため税収が減ったことが響きました。この間の消費税収は372兆円、法人3税の税収は291兆円も減りました(左上グラフ)。大企業に税をまけた穴埋めに消費税が使われてきたというのが真実です。

1世帯8万円の負担増

食料品などは軽減税率にするとおっしゃいますが、8%に据え置くだけのことであり、消費落ち込みの「軽減」にならないことは明らかです。リポビタンDは医薬部外品なので10%、オロナミンCは清涼飲料なので8%、税率の区分はめちゃくちゃです。小売店も客も大混乱は必至です。

10%増税で国民一人当たり約3.6万円の負担増、1世帯では約8万円の負担増となります。